

設置の背景・概要 等

[背景]

神経免疫疾患の中でも特に多発性硬化症(multiple sclerosis: MS)は働き盛りの若年女性に多い疾患である。新規薬剤が数多く開発されてきたがdrug lagの問題、患者数が少ないことによる国内でのRCT(二重盲検試験)の困難さなどが課題である。そのため我が国では診断能力は欧米と同等であるが、診断後の治療薬の選択肢の少なさ、経験のある専門医が少ない現状から患者のunmet needsを満たした診断・治療評価、経過観察が行われていない。

また神経免疫難病は慢性進行性である事が多く、医師のみならず医療従事者を含めたチーム医療が必要とされる。実際に患者に接し、それぞれの患者に最善の治療をおこなうためにはオーダーメイド医療が必要となるが、その基本となるのは経験豊富な医師のノウハウである。エビデンスベース医療を統合し、かつミクロ、マクロの視点から対応できる難病専門医療機関が日本でも必要とされる。

[目的]

順天堂医院ではMSさらには重症筋無力症(MG)、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)などの神経免疫難病が現在日本総患者数の2-3%をしめるが、それをさらに増やして欧米に対抗できる2000人規模のセンター化を目指す。そのためパーキンソン病においてすでに開始された遠隔医療にも取り組み人的・時間的問題を解決する。その結果全ての治療法(内科、外科、理学療法)に最先端の知識、技術に精通した医師、研究者を結集し、データベースの構築、臨床研究、基礎研究を行い論文含めた様々な手段で情報発信を行い難病医療に貢献することを主目的とする。その際に、神経変性過程は多発性硬化症においても重要視されてきていることから、s神経学講座のコア項目として基礎研究において取り組んできたミトコンドリア遺伝子とパーキンソン病に関する知見をMSに応用するとともに、パーキンソン病においては治療に繋げるために、ショウジョウバエの遺伝子改変モデルを作製し症状および病態解析を行う。

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻(号)：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Yokoyama K, Cossu D, Hoshino Y, Tomizawa Y, Momotani E, Hattori N. Anti-Mycobacterial Antibodies in Paired Cerebrospinal Fluid and Serum Samples from Japanese Patients with Multiple Sclerosis or Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder, J Clin Med. 2018 Dec 7;7(12).	
英文原著	2		Nakazato T, Tsuji Y, Kanai K, Noto YI, Hoshino Y, Yamashiro K, Yokoyama K, Nishioka K, Shimo Y, Watanabe O, Mizuno T, Hattori N. Isaacs syndrome: A slow potassium channelopathy caused by autoantibodies? Clin Neurophysiol. 2018 May;129(5):956-958.	
英文原著	3		Cossu D, Yokoyama K, Hattori N. Bacteria-host interactions in multiple sclerosis. Frontiers in microbiology, 2018 Dec, 9:2966	

区分	番号	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文総説	1	Cossu D, Yokoyama K, Hattori N. Bacteria-Host Interactions in Multiple Sclerosis, Front Microbiol. 2018 Dec 4;9:2966. Review.	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1	Yokoyama K, Cossu D, Sato S, Hattori N. Age-related dysfunction of mitochondria is associated with chronic progression and severity of EAE, 34th Congress of the European-Committee-for-Treatment-and-Research-in-Multiple-Sclerosis (ECTRIMS), Oct 10-12, 2018, Berlin, Germany	
区分	番号	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文総説	1	横山和正 服部信孝. 痛みの専門誌ペインクリニック、特集 痛み関連の神経科疾患、多発性硬化症の痛みの病態とマネージメント, 2018, 39(9):1169-1178、真興交（株）医学出版部	
和文総説	2	横山和正、服部信孝. 脳炎後パーキンソニズム、パーキンソン病 第二版、基礎・臨床研究のアップデート、日本臨床 第76巻増刊号4、388-395, 2018	
区分	番号	発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	井下 強, 光遺伝学的手法の導入はパーキンソン病モデルショウジョウバエのドーパミン神経活動を改善する. 第41回 分子生物学会, 横浜, 2018年11月30日	
国内学会発表	2	井下 強, Introduction of photoenergetic mitochondria improves neuronal activity of dopaminergic neurons in Drosophila model of mitochondria-associated Parkinson's disease. 第41回 神経科学学会, 神戸, 2018年7月28日	
国内学会発表	3	福嶋佳保里, Parkin活性化剤の探索. 第41回 分子生物学会, 横浜, 2018年11月29日	
国内学会発表	4	福嶋佳保里, PINK1-Parkinシグナル伝達に関する新規分子の解析, 第41回 神経科学学会, 神戸, 2018年7月28日	
国内学会発表	5	Cossu D, Yokoyama K, Hattori N. Exacerbated experimental autoimmune encephalomyelitis in Parkin deficient mice. Sendai Neuroimmunology Congress, 14 July 2018, Sendai, Japan	
国内学会発表	6	Cossu D, Yokoyama K, Sato S, Hattori N. The role of mitochondrial dysfunction in EAE; 1st report. 59th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, May 23-26, 2018, Sapporo, Japan	
国内学会発表	7	服部信孝、小川崇、横山和正. 口演、神経内科医の燃え尽き症候群を防ぐために-バーンアウトしないためのTipsをシェアしよう-、大学におけるバーンアウトの課題と対策、第59回日本神経学会学術大会、2018年5月23日～26日、札幌	
国内学会発表	8	星野 泰延、能登大介、横山和正、コッス・ダビデ、三宅幸子、服部信孝. 多発性硬化症・視神経脊髄炎患者の末梢血におけるリンパ球の解析、第59回日本神経学術大会、札幌市教育文化会館 他、2018年5月23日-26日、札幌	
国内学会発表	9	星野 泰延、中里朋子、中島翔、金井数明、横山和正、服部信孝. 順天堂大学におけるCIDP/MMN外来IVIg維持療法のreal world data解析、東京神経免疫研究会、明治記念館、2018年6月29日、東京	
国内学会発表	10	星野 泰延、能登大介、横山和正、コッス・ダビデ、三宅幸子、服部信孝. 多発性硬化症・視神経脊髄炎患者の末梢血と髄液におけるリンパ球の解析、口演、第24回神経免疫学会、郡山市中央公民館・郡山公会堂、2018年9月20日～21日、郡山	
区分	番号	発表者名・著者名、活動内容・タイトル等、掲載・発表情報等	国際共同

その他 (広報活動を含む)	1	Cossu D, Yokoyama K, Hattori N. Lecture, Catch a dream as a global researcher of Multiple Sclerosis. Yoshida Senior High School, 15 March 2018, Yamanashi, Japan.	
その他 (広報活動を含む)	2	横山和正. 座長、シンポジウム15：動きのぎこちなさや認知機能障害を有する患者をどう支えるか、日本在宅医学会第20回記念大会、2018年4月30日、東京	
その他 (広報活動を含む)	3	横山和正. 座長、自己免疫性脳炎の臨床スペクトラムの拡がり、シンポジウム4、第59回日本神経学会学術大会、2018年5月23日～26日、札幌	
その他 (広報活動を含む)	4	横山 和正. 座長、ワークショップ5、臨床ケース、第30 回日本神経免疫学会学術集会、郡山市中央公民館・郡山公会堂、2018年9月20日～21日、郡山	
その他 (広報活動を含む)	5	星野 泰延、能登大介、横山和正、コッソ・ダビデ、三宅幸子、服部信孝. 多発性硬化症・視神経脊髄炎患者の末梢血におけるリンパ球の解析、口頭+ポスター発表、第47回日本免疫学会学術集会、福岡国際会議場、2018年12月10日-12日	